

国名	オランダ
公的年金の体系 保険料財源 税 財 源 企 業 年 金 個 人 年 金	
被保険者 (◎強制△任意×非加入)	・老齢年金、遺族年金：◎国内居住者 ◎国外居住かつ国内就労者 △国外居住者 ・障害年金：◎被用者 ・職域年金：◎ (半強制)
保険料率 (2015年)	・老齢年金：17.9%，法定上限18.25% ・遺族年金：0.60% ・障害年金：9.65%
支給開始年齢 (2018年以降66歳，2021年以降67歳)	・老齢年金：65歳と2ヵ月，遺族年金：65歳未満の寡婦（夫） ・障害年金：2004年1月1日以降に障害事故に遭った65歳未満の者で事故後104週間過後に35%以上の障害であるもの
基本受給額 (2016年1月1日以降) (月額グロス)	・老齢年金：【単身】€1,138.15＋休暇手当€71.56， 【夫婦】€783.87＋休暇手当€51.12 老齢年金補助：受給者一人当り€337.08 ・遺族年金：€1,167.25＋休暇手当€85.55（所得調査前提，所得の多寡により給付額が増減） ・障害年金：障害程度に応じて日額賃金の75%補償，若年層対象追加給付（Wajong）あり * 休暇手当は毎年5月に支給
給付の構造	・老齢年金：65歳以上のオランダ人全員を保障する制度（15歳から65歳までのオランダ在住期間に比例） ・遺族年金：配偶者（遺族）が1950年以前の生まれで18歳未満の子供を養育，または45%以上の障害で就業不能であることを条件に支給される制度 ・障害年金（WAO，2005年12月29日よりWIA）：障害事故により一定程度合（35%以上80%未満：WGA，80%以上：IVA）就労不能の労働者に対する制度
所得再分配	なし
公的年金の財政方式	・老齢年金：賦課方式&一部積立方式（AOW Savings Fund，1998年導入） ・遺族年金：賦課方式 ・障害年金：賦課方式
国庫負担	AOW Savings Fundでは一般歳入から毎年一定額を繰り入れ（2020年に€1,350億規模に）
年金制度における最低保障	老齢年金補助（AIO：AOW compensation）あり
無年金者への措置	WWB：労働社会扶助法に基づく生活保護（要ミーンズテスト）制度あり
公的年金と私的年金	2階部分相当の職域年金（2014年末時点で年間GDPの190%水準）および3階部分相当の個人年金（life-course savingsとsalary savings，2013年1月よりVitality savingsに統一）あり
国民への個人年金情報の提供	SVB（オランダ社会保険銀行）による受給額裁定通知に対する不服申し立て制度（Review and Appeal）あり

オランダの年金制度

佐々木一成（国内系投資顧問会社 営業部門長）

1. 制度の特色と概要

オランダの年金制度は3階建てで、政府・年金基金・労使の三者で制度検証と運営を行う社会的共同体である。1階部分はAOW（国民老齢年金法、1957年制定）およびAIO（AOW compensation）で、賦課方式による全国民共通の基礎年金部分として法定最低賃金の70%（単身者。夫婦は100%）水準の年金額を給付する。2階部分はAOWを補完する職域年金制度（AOW franchise）で、年金貯蓄基金法（PSW）の規定により企業年金基金・産業単位年金基金・保険会社（Insurance Providers）何れかとの契約締結による運営が必須条件である。2015年9月末時点でのオランダ企業年金制度（429基金）の資産残高合計€12,476億はGDP€6,550億（2014年12月末）の190%弱水準に達している。また若年層の失業対策として賦課方式で運営する早期引退給付制度（VUT）により早期退職従業員に最終給与の80%を支給してきたが、2006年以降は事前積立方式に基づく早期退職年齢選択制度（VPL）への移行が進められてきた。3階部分は個人年金で、保険会社と個人年金契約（養老保険、年金保険共に可）を締結し15年以上の継続的な保険料拠出等の条件を具備すれば一定金額まで年金収入が非課税となる。

AOWは3種類の社会保護（Social Protection）政策の国民保険制度に属する老齢基礎年金に相当する。

- (1) 国民保険（National insurance）：社会保険料（所得比例）ミーンズテスト無
老齢年金（AOW）& 老齢年金補助（AIO）、
遺族年金（ANW）、例外的医療費（AWBZ）

* 子供手当（AKW）、介護手当（TOG）、若年障害年金（Wajong）はAWBZの枠内

- (2) 雇用保険（Employees insurance）：社会保険料（賃金比例）ミーンズテスト無
失業保険（WW）、長期障害保険（WAO/WIA）、疾病保険（ZW）

- (3) 社会扶助（Social assistance）：税財源による労働社会扶助（WWB）ミーンズテスト有

AOWは原則賦課方式だが1998年から一部積立方式（AOW Savings Fund）を導入した。保険料率は18.25%を上限に決定され、15歳～65歳まで拠出し65歳と2カ月から給付開始となる。ANWは寡婦（夫）または（両）親を失った子に対して生年月日や18歳以下の子の有無等の条件に応じた金額が支給される。WIA（旧WAO）は2004年1月1日以降の障害事故から104週間経過時点で35%以上の障害残存者に支給され、障害程度80%以上の場合はIVA（完全労働障害者向け所得支給策）、35%～80%の場合はWGA（部分労働障害者向け職務復帰策）により障害程度に応じた金額が支給される。Wajongは65歳未満のオランダ在住者で、17歳時点での障害程度が25%以上または17歳から30歳の間で25%以上の障害を被る以前に6ヶ月以上学生であった者に支給される手当である。IVA、WGA、WajongはUWV（福利厚生研究所）の管轄下にある。

2. 沿革

オランダ社会保障制度の起源は1901年の労働災害補償法まで遡るとされる。AOWの起源は1942年英国のビバレッジ卿報告に触発された社会問題担当大臣Willem dreesが1947年にVanRhijn委員会において起草した老齢層への所得保障提案にあり、その後10年の議論と歳月を経て社会問題および公共衛生担当大臣J. G. Suurhoff、財務大臣Johan of the

表-1：AOWの給付額（月間グロス）2016年1月1日以降

単身者世帯：€1,138.15＋休暇手当€71.56
既婚者（相手も受給権確定）：€783.87（一人当たり）＋休暇手当€51.12
既婚者（相手は受給権確定前、追加手当あり）（世帯当り）：€1,542.26＋休暇手当€102.24
既婚者（相手も受給権確定、追加手当なし）：€783.87＋休暇手当€51.12
出所：社会保険銀行（SVB）ホームページ
* 既婚者は同棲（相手の性別を問わず）も含む
* AOW上乗せ（top-up）分はグロス金額に含まれている
* 休暇手当は毎年5月に支給される

Kieft, 財務長官Willem hendrik of pine Berge, 内務大臣Louis Beelが中心となりWillem dreesを顧問に迎え, 時の内閣全閣僚が一致して導入に賛成し1957年に国民老齢年金法を成立させた。以後オランダの社会保障政策は伝統的なビスマルク型から北欧モデルへと舵を切った。1973年の第一次石油危機後, 天然ガス収入で高福祉社会を実現した同国だったが好況下の労働コスト上昇と通貨ギルダー高による輸出不振が経済低迷と財政赤字拡大を招き, 1982年のワッセナー合意により漸く失業率とインフレ率の同時拡大であるオランダ病を克服した。この背景にはポルダーモデル（政府・労働者・企業間の世代間連帯による合意形成）という独特の風土と世代間連帯の考え方があったとされる。2007年1月施行の新財政査定大綱（nFTK）では, 年金基金の積立比率（保有資産に対する時価）を信頼区間97.5%の確率で1年後に105%以上であることを義務付けたが, 2015年1月施行の改正財政査定大綱（FTK 2）では, 全ての確定給付型年金は名目契約（信頼区間確率97.5%で1年後の積立比率101%以上）か実質契約（給付水準が毎年物価にスライド）のいずれかを選択する必要を明確化した。

3. 給付算定方式, スライド方式, 受給開始年齢

老齢年金（AOW）は15歳から65歳までの50年間, 毎年各人の誕生日に2%ずつ受給権を積み上げ受給開始時（65歳と2カ月）以降に支給開始となるため, 誕生日時点でオランダに在住していなければ当該年度分の受給権が控除される。

遺族年金（ANW）は寡婦（夫）または（両）親を失った子に対して生年月日や18歳以下の子の有無等の条件に応じた金額が支給される（表-2）。老齢年金（AOW）との重複受給はできない。

4. 負担, 財源

AOWの財源である社会保険料は毎年, 社会保険雇用省（SZW）大臣が18.25%を上限とする料率内で決定し, 保険料徴収金額が給付金額を下回る分は一般予算からの繰入れによるAOW savings fund（2020年には€1,350億規模に）で負担している。高齢化と失業率の漸増, 経済成長率鈍化等を鑑み, CPB（オランダ経済政策企画局）はAOW関連支出がGDP比5.0%（2011年）から毎年4%ずつ増加し2040年には8.5%に達するとしている。

職域年金における保険料負担は労使折半が一般的であり, 平均給与比例の給付設計を採用する企業が殆どである。給付水準は40年間加入で基礎年金と合わせて平均給与の70%水準が目標で, 積立比率105%以上の年金基金のみ翌年インデクセーション採用スライド方式での給付水準改定が認められる。

5. 財政方式, 積立金の管理運用

AOWを始めANW, AKW, TOG, Wajong等の国民保険の財源は給与比例の賦課方式で徴収する社会保険料であり, 2015年のAOWの徴収料率は17.90%で徴収金額が給付金額を下回る分は一般予算からの繰入れのAOW savings fund（当該基金ではリスク資産での運用を行っていない）で負担する。一方WW, WAO/WIA, ZW等の雇用保険は賃金比例の賦課方式で徴収する社会保険料が財源である。

職域年金では2007年1月施行の新財政査定大綱（nFTK）で年金基金の積立比率（保有資産に対する時価）を信頼区間97.5%の確率で1年後に105%以上であることを義務付けた（欧州年金指針EIOPAの最低積立基準は105%）ため実質的には常時130%程度の比率が必要だったが, 2015年1月から施行されたFTK 2では, 全ての確定給付型年金は名目契約（信頼区間確率97.5%で1年後の積立比

表-2：ANWの給付額（月間グロス）2016年1月1日以降

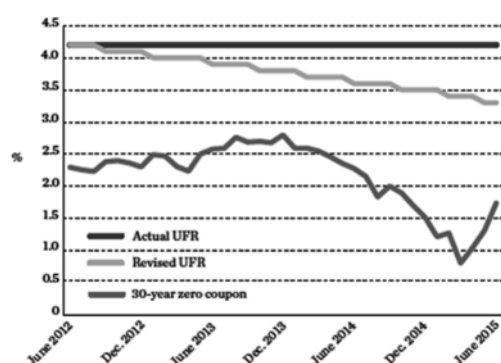
遺族年金：月間€1,167.65＋休暇手当€85.55
孤児手当：（～9歳）€385.03, （10歳～15歳）€569.18, （16歳～20歳）€753.32
* AOW上乘せ（top-up）分：€16.74がグロス金額に含まれている
* 休暇手当は毎年5月に支給される

出所：社会保険銀行（SVB）ホームページ

率101%以上) か実質契約 (給付水準が毎年物価にスライド) 何れかの選択が必須となった。2015年9月末時点でのオランダ企業年金制度 (429基金) の資産残高合計は€12,476億で要求水準105%に対して平均積立比率は100%である。

長期年金負債を算出する際に使用する市場金利が非流動的等の理由で定義が困難だったため、2012年のnFTK改正時に導入されたのがSolvency IIの考え方から派生した割引率UFRである。当初のUFRは4.2%であり、その後予想インフレ率や短期金利の代わりに20年金利先物の10年平均の値を基に再計算し、3.3%に引き下げられた

Current and revised UFR versus 30-year zero-coupon interest rate



Source: DNB

出所: オランダ中央銀行 (DNB) ホームページ

改正財政査定大綱 (FTK 2)

- (1) AOWが定める退職年齢は2015年から65歳、2018年から66歳、2021年から67歳に引上げ、2022年以降は平均寿命と連動
- (2) AOWの支給開始年齢は可変 (支給額増減は受給開始年齢が基本退職年齢より遅いか早いかで決定)
- (3) 支給金額の上乗せ分は金融市場での資産運用成績次第
- (4) 熟年労働者は体力・教育水準・労働環境に即した勤務形態の継続を推奨
- (5) 支給金額の上乗せ分への拠出金額は固定

6. 制度の企画, 運営体制

AOWは社会保険銀行 (SVB) によって管理・運

営されており, SVBの役員会は諮問委員会の助言に従って銀行業務を推進している。役員会と諮問委員会のメンバーはすべてSZWが任命し, 経営計画と予算の許認可権も有する。SZWはSVBの一部である労働所得監査院 (IWI) の外局である。

職域年金では年金基金および年金基金を持たない企業約30,000社と保険会社間の集団年金契約が年金保険監督庁 (PVK) の監督下にあったが, 現在はオランダ中央銀行 (DNB) が金融市場の法令および忠実義務の遵守の監督機能を, 金融市場監督省 (AFM) が市場取引と風評の監視機能を其々担っている。

オランダの労働人口の80%をカバーする企業年金連盟 (Pension Federation, 2010年設立) は, UvB (全職域年金基金労組), OPF (会社型基金連合会), VB (産業型基金連合会) の3連合共同組織であり, 260基金・加入員560万人・受給者290万人を有し, 加盟年金基金の資産合計額は約1兆ユーロ (約130兆円) を超える。2013年12月19日には3連合が正式合併し, 企業年金連盟運営が一本化した。連盟参加企業の全従業員には基金強制加入義務が引き続き課せられている。

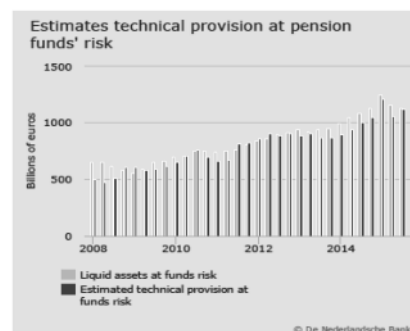
2015/1/24

Supervisory data on pension funds - De Nederlandsche Bank



Supervisory data on pension funds

These tables contain aggregated information about all the pension funds that are supervised by DNB. The tables are updated frequently. Next to the tables, excel graphs can be found which present information about the balance sheets and results of pension funds.



Downloads

Tables

► T8.2 Organisation and Pension Fund Governance; Yearly (XLS, 125.5 kB)
(/en/binaries/t8.2ev_tcm47-330814.xls?2016012415)

<http://www.dnb.nl/en/statistics/statistics-dnb/financial-institutions/pension-funds/supervisory-data-on-pension-funds/index.jsp>

出所: オランダ中央銀行 (DNB) ホームページ

7. 最近の議論や検討の動向, 課題

タワーズ・ワトソン社が2015年2月に発表した「Global Pension Asset Study 2015」^[1]によると、オランダの年金資産規模は米国、英国、日本、カナダ、オーストラリアに次いで世界第6位である。過去10年間（2004-2014）の年平均年金資産増加率は7.0%で、先進国中ではカナダの7.3%に次いで第2位だった（日本は調査対象16カ国^[2]中唯一の減少-0.3%で最下位）

[1] <https://www.towerswatson.com/en/Insights/IC-Types/Survey-Research-Results/2015/02/Global-Pensions-Asset-Study-2015>

[2] オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、香港、アイルランド、日本、マレーシア、メキシコ、オランダ、南アフリカ、韓国、スイス、英国、米国の16カ国。

Global Pension Assets Study 2015

Key findings - figures

	Total Assets 2014 (USD billion)	% GDP in USD billion ^a
Australia	1,675	113.0%
Brazil ¹	268	12.0%
Canada	1,526	85.1%
France	171	5.9%
Germany ²	520	13.6%
Hong Kong	120	41.2%
Ireland	132	53.7%
Japan ³	2,862	60.0%
Malaysia	205	60.7%
Mexico	190	14.6%
Netherlands	1,457	165.5%
South Africa	234	68.6%
South Korea	511	35.3%
Switzerland ⁴	823	121.2%
UK	3,309	116.2%
US ⁵	22,117	127.0%
Total	36,119	84.4%

¹ Brazil Pension Assets only include those from closed entities

² Only collect pension assets for company pension schemes

³ Do not contain the unfunded benefit obligation of Corporate pensions (account receivables)

⁴ Only includes total of autonomous pension funds. Do not consider insurance companies assets of USD 139.5 billion

⁵ Includes IRAs

^a Assets/GDP ratio for the world is calculated in USD and assets were estimated as of 31 Dec 2014

Source: Towers Watson and secondary sources

towerswatson.com

© 2015 Towers Watson. All rights reserved. Proprietary and Confidential. For Towers Watson and Towers Watson client use only.

Melbourne Mercer Global Pension Index 2015は、米マーサー社が毎年発表する世界25カ国^[1]の年金制度の適応性(Adequacy)、持続性(Sustainability)および適法性(Integrity)を総合評価したグローバル年金指数である。2015年版でオランダはデンマー

[1] オーストラリア、オーストリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、アイルランド、イタリア、日本、韓国、メキシコ、オランダ、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、スウェーデン、スイス、英国、米国の25カ国。

Executive Summary

The following table summarises the results.

Grade	Index Value	Countries	Description
A	>80	Denmark Netherlands	A first class and robust retirement income system that delivers good benefits, is sustainable and has a high level of integrity.
B+	75-80	Australia	
B	65-75	Sweden Switzerland Finland Canada Chile UK	A system that has a sound structure, with many good features, but has some areas for improvement that differentiates it from an A-grade system.
C+	60-65	Singapore Ireland Germany	
C	50-60	France USA Poland South Africa Brazil Austria Mexico Italy	A system that has some good features, but also has major risks and/or shortcomings that should be addressed. Without these improvements, its efficacy and/or long-term sustainability can be questioned.
D	35-50	Indonesia China Japan Korea (South) India	A system that has some desirable features, but also has major weaknesses and/or omissions that need to be addressed. Without these improvements, its efficacy and sustainability are in doubt.
E	<35	NIL	A poor system that may be in the early stages of development or non-existent.

We believe that none of the countries in this study has an E-grade system, which would be represented by an index value below 35. A score between 35 and 50, representing a D-grade system, indicates a system that has some sound features but there exist major omissions or weaknesses. A D-grade classification may also occur in the relatively early stages of the development of a

particular country's retirement income system, such as in China, India, Indonesia and Korea. For this year's index a number of countries have changed grade, with the Netherlands joining Denmark with an A-grade. Mexico and Italy improved to a C-grade.

October 2015 7

<http://www.globalpensionindex.com/wp-content/uploads/Melbourne-Mercer-Global-Pension-Index-2015-Report-Web.pdf>

クと共に総合評価A（総合順位は2位）であり、適応性と適法性でデンマークを上回ったものの、持続性でデンマークの後塵を拝したため総合順位2位となった。

- (1) 高齢者の労働参加率上昇
- (2) 受給権保護のための諸施策導入
- (3) 積立不足を回避する仕組みの確率

の3条件が（評価向上への）課題と指摘された。

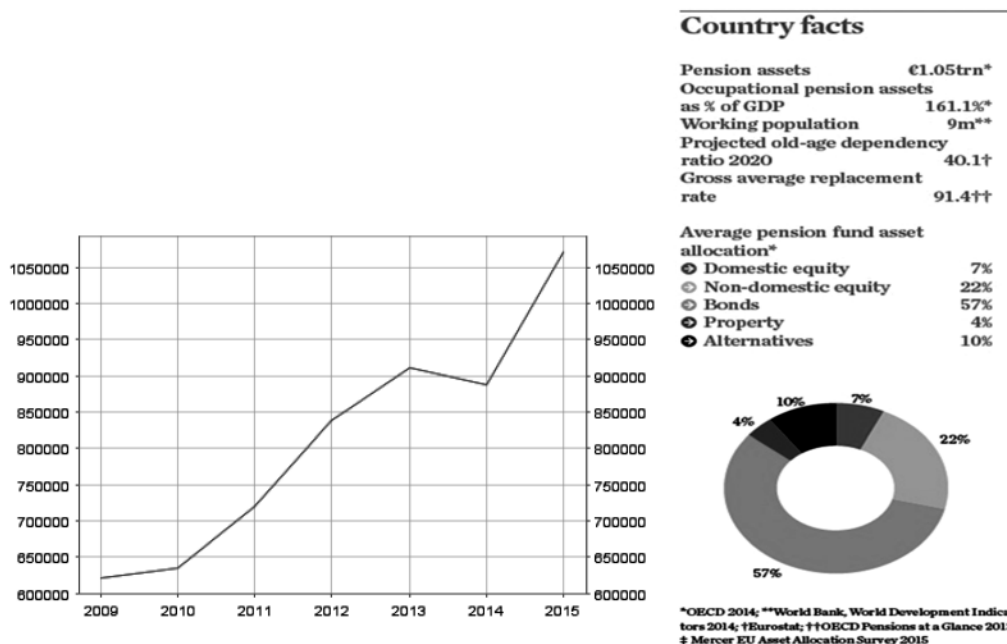
今後のオランダの企業年金制度では、(1) DB名目契約or DB実質契約 (2) CDC (3) スマートDC (4) DCの4制度の選択肢が共存すると考えられる。

(1) DB名目契約or DB実質契約

DB名目契約では一定給付水準を約束し、3年の

オランダ企業年金の資産配分の変化（2012年と2015年）

	2012		2015 (3Q)	
資産	金額(百万ユーロ)	(%)	金額(百万ユーロ)	(%)
不動産	84,919	8.96	7,802	0.63
株式	307,365	32.44	779,359	62.47
債券	478,271	50.47	313,299	25.11
デリバティブ	3,305	0.35	79,309	6.36
ローン	4,933	0.52	24,026	1.93
預金	2,732	0.29	30,336	2.43
再保険	17,303	1.83	13,133	1.05
非伝統資産	48,727	5.14	369	0.03
合計	947,555	100.00	*1,247,629	100.00



オランダ企業年金基金の資産額推移 (単位: 百万ユーロ)

http://sdw.ecb.europa.eu/quickview.do?SERIES_KEY=240.ICPF.A.NL.N.V.LE.F6.S1252.A1.S.2.N.E.Z

回復猶予期間と追加バッファ（現時点で平均21.6%, 26.6%が理想）が信頼区間確率97.5%で維持される必要があるが、DB実質契約では最低積立比率水準101%, 最長10年の回復猶予期間、(運用損と平均寿命変動を反映させる) 金融ショック調整 (AFS) による給付水準調整 (インデクセーション) がある。

1992年の1100基金から2015年には350基金まで減少した企業年金制度に対する危機感が引き金となって生まれたDB制度存続に向けた最新の取り組みがAPFである。

APFはAPI (general pension fund) の後継機関で、後述するPPIと対照的に確定給付型年金を対象とする機関である。年金基金自身は勿論、運用機関や保険会社等多数の機関はAPF設立が可能だが、産業別基金 (industry-wide schemes) は現時点で参加できない。APFは単一経営陣の下で、様々な異なるリスク特性や資産構成を有する年金基金を一元管理するため、流動性は担保されつつも各基金の資産は隔離 (ring-fenced) されるため、APFの仕組みにより、中小年金基金はガバナンスコストを30~40%削減できるとされる。APFはいわば資産隔離された複数事業主制度であり、未だごく一部の年金基金でしか実施認可に至っていない。またAPFは多国籍での展開が認められていない。

(2) CDC (Collective DC: 集団型確定拠出年金制度)

利害関係者（企業、年金基金、年金管理機関、受給者）で拠出金水準とリスク選好度および資産配分を検討し、年度毎に必要な（固定）金額を拠出しその運用成果を労使双方で負担する制度。当該制度の発展型が、英国における当事者間で運用成果の妥協水準 (Ambition) を事前に設定するDA (Defined Ambition) である。

(3) スマートDC

PPIが提供するDCで、年金資産保全と受給権保護を最優先課題に据えた制度である。2011年1月1日から導入されたPPI (Premium Pension Institution) は、IORP指針に基づき、EU域内で複数または多国籍（クロスボーダー）の確定拠出年金制度の運営管理機関で、オランダ中央銀行 (DNB) が許認可を有する年金資産管理3機関 (PPI, Multi-scheme, API) の1つである。

企業・従業員・PPIの三者契約（企業とPPI間は年金制度管理契約）が締結される（①②③）と、PPIはあらゆる生物学的リスク（死亡、障害、長寿など）を負担することができないため、企業は④で保険会社（複数社）と保険契約を結び、退職した従業員の積立資産はPPIから保険会社に移管される。⑤でPPIはカストディアンを指名し積立資産と受給

Newly introduced General Pension Fund (APF) could resolve Dutch pension challenges for US companies

As from the 1st of January 2016 a new type of pension fund will be introduced in the Netherlands: General Pension Fund (Algemeen Pensioenfonds, hereinafter 'APF'). The APF will facilitate pension funds joining ventures within a so-called 'ring'. Plans in this ring could qualify for DC accounting under US GAAP and thus may resolve Dutch US GAAP pension challenges.

1

APF is a newly introduced pension pooling vehicle that enables a separate financial administration of multiple pension plans (so-called 'ring-fencing'). One type of APF will have professional expert boards that will manage the fund's administration and investments.

3

Constructing a CDC ring within an APF that meets the requirements of a multi-employer plan is far from straight forward and requires careful planning and pension technical consultation. Moreover, changing a Dutch pension situation requires mutual consent from works council, unions and/or pension fund boards. PwC is very well positioned to support you with this.

2

Most APF rings will be constructed as so-called Collective Defined Contribution (CDC) plans. CDC plans have a fixed contribution and all actuarial and investment risks fall on the individual participants. Furthermore, a ring with a number of other employers could be constructed within an APF in such a way that the plan will qualify as a multi-employer plan under US GAAP. This would result in DC accounting. Altogether: a (stable) pension contribution as P&L charge, no liabilities on the balance sheet and less disclosure requirements.

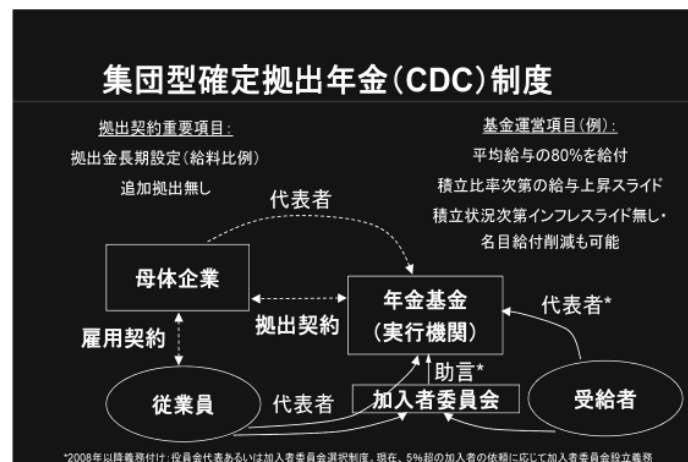
Contact
The pension specialists from PwC have broad financial, fiscal, legal, accounting and actuarial expertise combined with strong experience in stakeholder management.

If you want to talk to us about these topics, please contact:

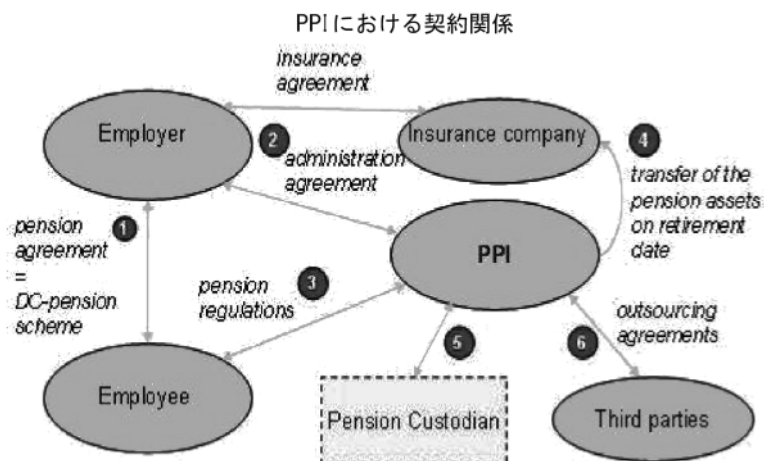
Mischa Boret
+31 (0) 88 792 7457
mischa.boret@nl.pwc.com

Lilian van Duijnhoven
+31 (0) 88 792 4317
lilian.van.duijnhoven@nl.pwc.com

pwc



出典: <http://www.pwc.nl/nl/assets/documents/150707-apf-flyer.pdf>



出典: De Brauw Blackstone Westbroek社
Investment Management Group Newsletter - The Premium Pension Institution
2010年12月30日

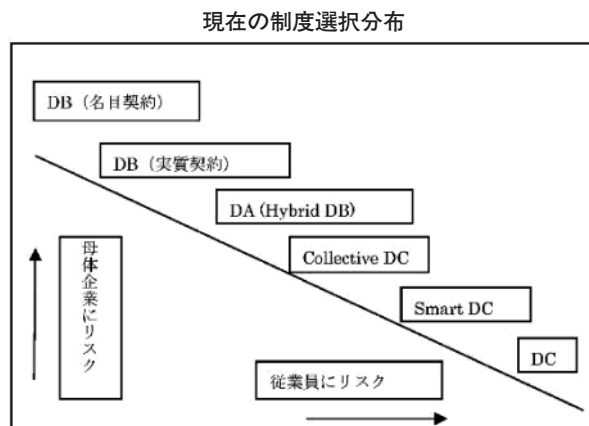
権の保全を図る。資産運用や受給者の連絡等の業務は⑥で第三者にアウトソースする。

(4) DC

オランダでも英米型のDCを導入する年金基金が徐々に増えてきており、中でもNedlloyd Pensioenfonds（ネドロイド年金基金、1971年設立）のようにCDCからDCへ制度転換する事例が出てきている。

ポイントは「Collective annuity（団体年金）はリスク分散効果があり退職期間を通じてより高いリターンをもたらす」という信念であり、①高い運用成果をもたらすライフ・サイクル・ファンドを提供する革新的DCプラン②DC転換後も以前のCDC制度へ復帰できる選択肢が特徴である。

8. 今後の動向



<http://www.aegonglobalpensions.com/Documents/aegon-global-pensions-com/Publications/Newsletter-archive/2013-Q1>

進化への挑戦: 集団運営が最良の結果を生む & 単純なDBは最早持続不可能

